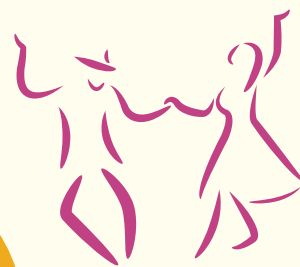




ダンス!ダンス!ダンス!

心躍る 音楽会



すがもベテランクラブ コンサート 2015



2015年11月00日(水)
14:00開演

巣鴨信用金庫 本店3階ホール



すかもベテランクラブコンサート2015

今日は、皆様を心躍るようなダンスパーティーへのご招待いたします。
踊りの曲と言っても、色々ありますが、この中から19世紀に誕生した
2つの踊りに特に焦点を当てたいと思います。ワルツとタンゴです。
舞曲によってリズムや世界観もさまざまですが、楽器編成によっても
曲の雰囲気がガラリと変わりますので、どうぞご堪能ください。



ワルツ

ワルツと言えば、3拍子のリズムが特徴的な、優雅な舞踏会のイメージの舞曲ですね。
しかし、もともとは農民が踊るテンポの速い民族舞踊でした。19世紀のウィーン会議をきっかけに
ヨーロッパで大流行し、現在のイメージのような優雅なスタイルが確立しました。
弦楽四重奏とピアノ、優美で華やかな曲調から、哀愁漂う曲調まで、さまざまなワルツをお届けいた
します。



タンゴ

男女の情熱的な踊りのイメージのタンゴ。
強烈な伴奏音型が特徴的で、2拍子のリズムの情熱的な踊りです。スペインの舞曲がもとになって
おり、19世紀半ばに南米ブエノスアイレスで「アルゼンチン・タンゴ」と言われるダンスが大流行し
ました。その後ヨーロッパに渡って変化し、社交ダンスで用いられる「コンチネンタル・タンゴ」が生
まれました。今回演奏するのは「アルゼンチン・タンゴ」です。タンゴには珍しい編成ですが、金管楽
器の奏でる力強く艶やかな音色をお楽しみください。



ミュージカル

ダンスパーティーの最後はショータイムです！
みなさんお馴染みの曲を含むミュージカルナンバーをストーリー仕立てでお送りします。



司会：三ツ木 麗 (みつき うら) 1年 声楽演奏家コース

メッセージ

こんにちは！東京音大のチャップリンこと、声楽演奏家コース1年の三ツ木麗です。
このコンサートの進行役として、皆さんを「心躍る音楽の世界」へご案内致します！笑顔
溢れるコンサートにしたいと思っていますので、ぜひ最後までお楽しみください！

栃木県出身。東京音楽大学付属高等学校卒業。東京音楽大学声楽演奏家コース1年在学中。
第24回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール声楽部門4位。第6回東京国際声楽コン
クール準本選入賞。これまでに福祉施設を中心に司会、企画経験多数。宇都宮市を中心とし
て音楽活動を行う。現在、オペレッタの脚本を手掛けるなど精力的に活動中。声楽を釜洞裕
子、秋山隆典の両氏に師事。

〈第1部 ワルツ・ポルカ 弦楽四重奏〉



《美しく青きドナウ》/ ヨハン・シュトラウスⅡ
“An der schönen blauen Donau” Op.314 / Johann Baptist Strauss II

「ワルツ王」ヨハン・シュトラウス二世の最高傑作といわれ、1867年、プロシアとの戦争に負けたウィーン市民を励ますために作
曲されました。ウィーン市民はくるくると舞い踊って、憂さを晴らしたことでしょう。ドナウ川のゆったりと流れる様子を思い起こさ
せるかのようです。

《ピッツィカート・ポルカ》/ J.&J.シュトラウス
“Pizzicato Polka” / Johann & Josef Strauss

ヨハン・シュトラウスが弟のヨゼフと共に作曲した、ニューイヤークンサートでも定番の曲です。弦を指ではじいて音をだすピツ
ツイカートによる、跳ねるような音が可愛らしいですね。2拍子のポルカも、ウィーンでとても人気のあった舞曲です。

《弦楽セレナード》ハ長調Op.48より 〈ワルツ〉 / チャイコフスキー
“Walzer” from “Serenade” in C Major, Op.48 / Pyotr Ilyich Tchaikovsky

単純なメロディーですが、テンポが自在に延び縮みする、とても表情豊かな曲です。チャイコフスキーがモーツァルトへの敬愛
から書いたそうです。弦楽器の甘く気品のある音色をお楽しみください。

《くるみ割り人形》より 〈花のワルツ〉 / チャイコフスキー
“Waltz of the flowers” from “The Nutcracker” Op.71 / Pyotr Ilyich Tchaikovsky

誰もが一度は耳にしたことのある、豪華なワルツ。華やかなメロディーがつつい踊りたくなるような気分にごさせてくれます。弦
楽器が今度は優雅な音色を紡ぎ出します。



- ヴァイオリン 横山 琴子(よこやま ことね) 4年
- ヴァイオリン 神山 里梨(かみやま りり) 4年
- ヴィオラ 世川 すみれ(せがわ すみれ) 4年
- チェロ 長屋 利沙(ながや りさ) 4年

メッセージ

こんにちは。私たちは東京音楽大学弦楽器科の中で、最も息のあう4人です！
「すかもベテランクラブコンサート」への出演は、昨年に引き続き今回で2回目になります。前回はとても楽しく、みなさま
の温かい笑顔が恋しくなり、今年も来てしまいました！
今年は出演が2回目になるので、私たちの演奏もベテランになっているかも...?
ワルツ、ポルカといった心が思わず躍るような舞曲の数々を、弦楽四重奏の響きでお楽しみください！

〈第2部 ワルツ ピアノ独奏・連弾〉



《眠りの森の美女》より〈ワルツ〉 / チャイコフスキー

‘Waltz’ from ‘The Sleeping Beauty’ Op.66a / Pyotr Ilyich Tchaikovsky

チャイコフスキーのバレエ音楽には、沢山のワルツが含まれています。ワルツはロシアでも大変人気がありました。滑らかなメロディーと大人っぽい華やかさを持った美しい曲です。

《ワルツ》変ニ長調Op.64-1 / ショパン

‘Valse’ Op.64-1 / Frederic Chopin

《子犬ワルツ》という愛称は日本だけのものですが、子犬が自分の尻尾を追いかけぐるぐる回る様子が目に浮かぶようです。じつは、ショパンのワルツは踊ることを想定されていなかったため、踊るためにはテンポが速過ぎるといえます。

《華麗なる円舞曲》Op.34-3 / ショパン

‘Valse brillante’ Op.34-3 / Frederic Chopin

《猫のワルツ》と呼ばれることもあります。先ほどの子犬とは一味違い、いたずら子猫を思わせるところがあるかもしれませんね。駆け回るような速い旋律と軽やかな跳躍が続き、最後には華々しく終わります。

組曲《仮面舞踏会》より〈ワルツ〉 / ハチャトゥリアン

‘Waltz’ from ‘Masquerade Suite’ / Aram Khachaturian

フィギュア・スケートの浅田真央さんがバンクーバー・オリンピックの演技で使用したことでも有名な曲ですね。アルメニアの作曲家ハチャトゥリアンが帝政ロシア時代の貴族社会を風刺した劇音楽を元に、組曲にまとめた曲です。豪華絢爛な響きの中に潜む哀愁のあるメロディーが印象的です。

《木の葉のワルツ》 / 松崎泰治

秋の終わりに木の葉がひらひらと舞い散っていくような切ないながらも美しい曲。中盤で力強くなったかと思うと、最後はあっけなく終わってしまうところもまた、秋の儚さを感じさせます。

《16のワルツ》Op.39より 第15番 変イ長調 / ブラームス

‘Waltz’ Op.39-15 in A-Flat Major/ Johannes Brahms

《愛のワルツ》とも呼ばれる優しい曲。同じ3/4拍子ですが、テンポがやや遅く、庶民が踊る田舎風の音楽という雰囲気を持った、素朴な曲です。

《くるみ割り人形》より〈花のワルツ〉 / チャイコフスキー

‘Waltz of the flowers’ from ‘The Nutcracker’ Op.71a / Pyotr Ilyich Tchaikovsky

《花のワルツ》は、ピアノ連弾でもお聴き頂きましょう。最初の優雅で女性的なメロディーと中盤の力強い男性的なメロディーの対照、終盤になるにつれてどんどんダイナミックになっていくところが聴きどころとなっています。



ピアノ 鶴見 光音(つるみ みお) 3年

ピアノ 中平 優香(なかひら ゆうか) 3年

メッセージ

私たちは、昔から同じ先生の下で今年からは連弾のレッスンも一緒に通っています。いつもにこにこ笑顔でお互いに支え合いながら頑張っています。そんななかよし2人組で今回さまざまな雰囲気のワルツを物語風にお届けします。みなさまに楽しんで聴いて頂けたら嬉しいです。

〈第3部 タンゴ 金管五重奏〉



《リベルタンゴ》 / ピアソラ

‘Libertango’ / Astor Piazzolla

この題名は「リベルタ(自由)」と「タンゴ」を合成して付けられたものです。アルゼンチンで酷い批判を受け、体調も崩していたピアソラが再起をかけてイタリアで作曲した曲です。まだまだ自由に作曲する、そんな意気込みが込められているのかもしれませんが。躍動するリズム感とエネルギーにあふれ、何か始まる予感を感じさせるようなノリの良い伴奏に乗って、独奏楽器が哀愁を帯びたメロディーを演奏します。

《タンゴの歴史》より〈ナイトクラブ 1960〉 / ピアソラ

‘Night club 1960’ from ‘Histoire du Tango’ / Astor Piazzolla

題名のとおり、タンゴの歴史を物語る作品。1960年代に国際交流が急速に広がったため、世界中の色々なタンゴが合流し、発展しました。人々は新しいタンゴを聴きにナイトクラブへ通ったそうです。

《キラータンゴ》 / コンパネック

‘Killer Tango’ / Sonny Kompanek

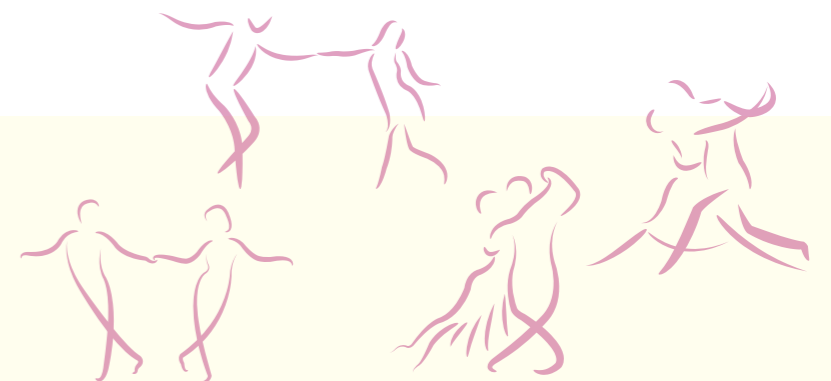
タンゴ独特の伴奏と雄々しいメロディーが魅力的です。金管楽器の情熱のこもったタンゴをお楽しみください。



トランペット	森山 一輝(もりやま かずき)	3年
トランペット	太楽 沙月(たいらく さつき)	3年
ホルン	深江 和音(ふかえ かずね)	3年
トロンボーン	葛西 修平(かさい しゅうへい)	3年
チューバ	若林 毅(わかばやし つよし)	3年

メッセージ

私たちは、同じ学年で本気のアンサンブルをしよう!と集まった金管五重奏団です。金管ならではの強く輝かしいサウンドはもちろん、優しくしなやかなハーモニーも私達の得意とするところ。金管楽器の幅広い可能性を求め、日々練習しています。本日は「タンゴ」にスポットをあて、皆様に熱い演奏をお届けします!



第4部 ミュージカル 声楽



《ライオン・キング》より《サークル・オブ・ライフ》 / 作詞:T.ライス 作曲:エルトン・ジョン
‘Circle of Life’ from “The Lion King” / lyrics: Tim Rice, music: Elton John

冒頭の歌詞はズルー語です。“命はめぐる”というテーマのもと、大草原を駆け抜けるようなエネルギッシュなメロディーが魅力的です。

《雨に唄えば》より《雨に唄えば》 / 作詞:A.フリード 作曲:N.H.ブラウン
‘Singin’ in the Rain’ from “Singin’ in the Rain” / lyrics: Arthur Freed, music: Nacio Herb Brown

土砂降りの雨の中、恋の喜びをタップダンスで表現するジーン・ケリーの演技は、映画史に残る名シーンとされていますので、きつとこの歌を聴くと、雨の日でも悪くないかと思えるはず。

《マンマ・ミーア!》より《マンマ・ミーア》 / 作曲・作詞:B.アンダーソン、B.ウルヴァース
‘Mamma Mia’ from “Mamma mia!” / lyrics & music: Benny Andersson & Björn Ulvaeus

聴くだけでワクワクと心は踊り、ときめいてしまう、そんな躍動感溢れる一曲です。

《レ・ミゼラブル》より《オン・マイ・オウン》 / 作詞:A.ブーブリル 作曲:C.-M.シェーンベルク
‘On my own’ from “Les Miserables” / lyrics: Alain Boublil, music: Claude-Michel Schönberg

報われない恋をつらぬき、愛する人の幸せを願う切ない曲です。

《サウンド・オブ・ミュージック》より《ドレミの歌》 / 作詞:O.ハマースタイン2世 作曲:R.ロジャース
‘Do Re Mi’ from “Sound of Music” / lyrics: Oscar Hammerstein II, music: Richard Rodgers

日本ではペギー葉山が歌った歌詞がおなじみの、誰でも幼いころに歌い聴いた懐かしい曲ですね。

《ガール・クレイジー》より《アイ・ガット・リズム》 / 作詞:I.ガーシュイン 作曲:G.ガーシュイン
‘I got rhythm’ from “Girl Crazy” / lyrics: Ira Gershwin, music: George Gershwin

元々はミュージカル《ガール・クレイジー》のために作曲された曲ですが、映画『巴里のアメリカ人』で有名になりました。ジャズ特有のコード進行が楽しめます。



- | | | |
|-----|----------------|----|
| 声楽 | 岩井 萌(いわい もえ) | 4年 |
| 声楽 | 岡田 真麻(おかだ まあさ) | 4年 |
| 声楽 | 三木 愛加(みき あいか) | 3年 |
| 声楽 | 竹田 理央(たけだ りお) | 3年 |
| ピアノ | 森 光平(もり こうへい) | 4年 |

メッセージ

こんにちは、『Ra*uM』(ラム)です。私たちはミュージカルの曲を中心に演奏活動しています。今回は皆さんにショービジネスであるミュージカルの素晴らしさを知っていただくために、ミュージカルの金字塔とも言われる作品をプログラムに集めました。どこかで聞いたことのあるメロディー、口ずさみ踊り出したくなるような音楽を皆さんに堪能していただけたらと思います。さあ、皆さんも私たちとミュージカルの世界へ!!



《虫の声》

詞曲文化省唱歌

あれ松虫が 鳴いている
ちんちろ ちんちろ ちんちろりん
あれ鈴虫も 鳴き出した
りんりんりんりん りいりんりん
秋の夜長を 鳴き通す
ああおもしろい 虫の声

きりきりきりきり こおろぎや
がちやがちや がちやがちや くつわ虫
あとから馬おい おいついて
ちよんちよんちよんちよん すいつちよん
秋の夜長を 鳴き通す
ああおもしろい 虫の声

《ふるさと》

詞 高野辰之 曲 岡野貞一

うさぎ追いかの山
こぶな釣りしかの川
夢は今もめぐりて
忘れがたきふるさと

いかにいます父母
つつがなしや友がき
雨に風につけても
思いいずるふるさと

こころざしをはたして
いつの日にか帰らん
山は青きふるさと
水は清きふるさと

《上を向いて歩こう》

詞 永六輔 曲 中村八大

上を向いて歩こう
涙がこぼれないように
思い出す春の日
一人ぼっちの夜

上を向いて歩こう
涙がこぼれないように
思い出す秋の日
一人ぼっちの夜

悲しみは星の影に
悲しみは月の影に
上を向いて歩こう
涙がこぼれないように
泣きながら歩く
一人ぼっちの夜
一人ぼっちの夜

ACT Project

東京音楽大学

専攻や学年の枠を超えて音楽に関する制作業務を行う、東京音楽大学の中の、学生による音楽事務所。
学外ホールでのコンサートを企画する「ホールコンサートチーム」、地域の施設等から依頼を受けてコンサートを
行う「エリアコンサートチーム」、学内J館ロビーでの
コンサートを制作する「Jロビーコンサートチーム」、
ACTプロジェクトが関わる音楽活動についての広報を
担当する「サイバーチーム」の4つのチームに分かれて活動
している。